



ザンビアの経済概況・月報(2017年8月)

主なマクロ経済指標	2016年	2017年
1. 人口 (百万人)	16.21 (2015)	-
2. 人口増加率 (%)	3.11 (2015)	-
3. 失業率 (%)	7.4 (2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,154(2015)	-
6. GDP成長率 (%)	2.9(est)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,490(2015)	-
8. インフレ率 (%)	18.2	6.3(Aug)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	183.66	195.75(Aug)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	325.0(est)	-135.77*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-22.90*4	96.69*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	7,036.0	4,537.11*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	24.13*4	127.06*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	6,710.0	4,673.03*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	47.03*4	30.37*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-283 (2015)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,653(2015)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,195(est)	2,430(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	6,900(Dec)	7,200 (May)
21. 為替レート (対米ドル)	9.81ZMW (end-period)	9.02ZMW(Aug)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	11.0

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

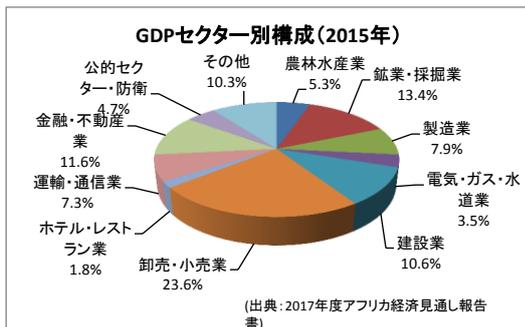
*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2017年1月から7月までの貿易額。1USD=9.45ZMW (2017年7月までのザンビア中央銀行為替相場月間平均)を用いて換算
*3	2017年1月から7月までの貿易額。1USD=112円 (2017年7月までの日銀基準外国為替相場月間平均)を用いて換算
<2017年7月>	
主要輸出品目: 銅/コバルトの酸化物及びコバルトの水酸化物/コバルト/発煙硫酸/生石灰	
主要貿易相手国(輸出): スイス 50.2%, 中国 11.8%, 南アフリカ 10.1%, コンゴ(民) 5.8%, 香港 4.1%, その他 17.9%	
主要輸入品目: コバルトの酸化物及びコバルトの水酸化物/精製銅/石油及び歴青油/窒素肥料/灯油	
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 29.6%, コンゴ(民) 22.6%, 中国 10.5%, クウェート 7.1%, インド 3.1%, その他 27.0%	
*4	1USD=111円 (2016年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典> 1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21(2016): Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21(2017), 22: Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度 ~ 鉱業関連 ~>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※ 採掘権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(8月)

1. “国は迅速な民間セクター開発を開始”(Daily Nation, 1日)

政府は、この先100日でビジネスと経済成長を目的とした民間セクターの成長の迅速な結果を求めるイニシアティブを開始した。開発計画省次官によれば、同イニシアティブは第7次国家開発計画等のプログラムの実施の一助となり、展開されていく目的のものである。

2. “農業ベースの複合的経済特区が有効”(Daily Mail, 3日)

政府は、地方への投資や多角化を促進するために農業が基本の複合的経済特区の設立の可能性を検討している。ムワナカトウエ商業貿易産業大臣が述べた。

3. “環境産業へ10億ドルの投資”(Daily Nation, 8日)

ザンビア開発庁は、2016年ザンビアにおいて水力発電に関連した環境産業へ10億ドル以上の莫大な投資があったと発表した。

4. “ザンビアは航空産業にとって魅力あり”(Times, 9th)

外国投資家はザンビア航空セクターへの投資に関心を示しているとザンビア民間航空局が述べた。これは、EUが2016年6月にEUがザンビアで登録されている航空機に対する制裁を解除したことに伴うもの。2009年EUは、ザンビア登録の航空機は、安全基準に満たないとして、欧州領空への進入を禁止していた。

5. “強靱な経済は金融政策を引き下げる”(Daily Mail 11日)

金融政策委員会は、政策金利を12.5%から11%まで引き下げた。この措置は、生産力を有するセクターが経済成長を生み出すために資金へのアクセスを増加することが目的である。

6. “ザンビアは国債の格付けが上昇”(Daily Mail, 28日)

スタンダード・プアーズは、ザンビア国債格付けを安定的な見通しを背景にマイナスからプラスへ変更した。ムタティ財務大臣は、今回の変更は、政府による経済を安定化させ成長させるための政策が十分実施されたことが評価されたためであると述べた。

7. “政府はボーダーポストの近代化のために日本の関与を検討”(Times, 29日)

ザンビア政府は、ボーダーポストの近代化と発展のために日本政府の関与を検討中である。ムワナカトウエ商業貿易産業大臣は、ボーダーポストの発展は、マラウィ、モザンビーク及びコンゴ(民)との地域貿易の増加につながり、これを確保するためにほとんどのボーダーポストにおけるインフラ整備の必要があると、TICAD閣僚会議に出席した際述べた。

8. “銅価格がクワチャ高の要因”(Daily Mail, 31日)

ザンビアの上向きなマクロ経済基盤はビジネスの開始と投資家の信用度を増すことが期待されている。現在、銅は、1トン6,800ドルで取引されており、クワチャが1ドル10クワチャを下回り、インフレ率が6.3%である。銅の国際価格の上昇は、強いクワチャを維持し、安定した取引につながっている。

9. “CECとモパニの電気料金の対立が終了”(Times, 31日)

30日、6週間以上に及ぶ改訂電気料金に係るコッパーベルト・エネルギー公社とモパニ・コッパー・マイنزの対立は、政府の調停による、両者が鉱山への電力供給の回復に同意したことで解決された。